



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和4年10月18日
文責：校長 江上 知男

子どもと関わる支援員



本校は「チーム嘉島西小」です！

本校は、学校職員以外の様々な立場の人の力の結集により、教育活動が成り立っています。教育委員会や給食センターはもちろんのこと、例えば子どもや保護者の相談に乗ってくださるスクールカウンセラーは、1月に5~6回程度本校で勤務されます。また、11月から再開予定の読み聞かせ「ひだまりの会」の方々や、毎日登下校の見守りをいただいている有志の方々などなど、地域の皆さんの存在もご周知の通りです。学校の運営は学校職員だけでは到底無理で、様々な学校外の皆さんとの「連携・協働」が不可欠です。

一方、学校内にも、保護者の皆さんが小中学生だった頃になかった「職種」の職員がいます。その代表が、特別支援教育支援員(通称『支援員』)です。学校には、様々な個性を持つ子どもたちが在籍していますが、場面によって「適応できない困り感」を持つ子どももいます。そのような時に、学習支援や安全確保などの学習活動上のサポートを行うのが支援員です。本校には、6名配置されていて(井上支援員、白石支援員、大迫支援員、橋本支援員、大岩支援員、内山支援員)、様々なサポートを行っています。私は、定期的に支援員と意見交換を行いますが、一人一人の子どもたちのことを実によく見て、様々な関わりをしていることを感じます(子どもたちは支援員の先生が大好きです)。また、教員業務支援員(原住支援員)は、学校の環境整備や運営の補助など様々な業務を行います。

このように、学校内、外で様々な役割の人が、学級を運営したり勉強を直接教えたりする教員と同等に、子どもたちの将来の自立・自律に向けて「大切な役割」を担っています。それら、嘉島西小の子どもの育ちに関わっていただく全ての人が、「チーム嘉島西小」の一員だと思うのです。

「感動」しました！

10月14日(金)、町民会館で「県公民館・社会教育研究大会」が開催されました。とても大きな大会で、参加者は県下一円から集まっていました。

その中で、歓迎のアトラクションとして町を代表して「嘉島太鼓」が登場しました。本校の子どもたちも、大人



ステージでの演奏

や中学生に混じって4人がメンバーに入っています。私は、嘉島太鼓の演奏を初めて聴きましたが、その力強さに圧倒されました。そして、4人の子どもたちは、学校で見せてくれる表情とは全く別人で、あまりのカッコ良さに「感動」してしまいました。子どもたちにとって数百人を前にして演奏することは「貴重な経験」だったと思いますし、緊張の中でやり遂げたことで「心の成長」につながったのではないかと思います。関係された皆さん、本当にお疲れ様でした。

嘉島中校区「学力向上」研究発表会を開催します！

10月27日(木)に、研究発表会を開催します。県内各地の教師を招いて、算数と外国語の授業を公開します。本来なら地域の皆様にも見ていただきたいところですが、運営上の関係から、2年3組(算数)と6年2組(外国語)の保護者(各家庭1名)だけに公開することになりました。どうかご理解願います。また、PTAやたっげ隊の皆さんには駐車場整理に協力いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。